

第5回 広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会まとめ

《開催日》 平成20年1月28日（木）午後1時30分～午後3時10分

《場 所》 豊岡市立図書館2階 視聴覚室

《出席者》 委員：寺嶋均、森住明弘、吉田勲、定元之雄、狩野昇、山田政五郎、
井上政信、中田雄久、久保田八千代、西垣好博、荒井泰史、
足田仁司 （敬称略）

組合：施設整備課職員他10名 合計22名

《内 容》 … 委員会次第

1 開 会

2 協 議

(1) 一次候補地 現地確認の報告について

(2) 候補地の一次評価について

3 その他

(1) 次回委員会について

○ 「2 協議」 の内容

(1) について

各委員の発言内容は別紙「絞り込んだ5箇所の現地報告について」参照

(2) について

① 栃江、下宮、森本・坊岡、奈佐路、口小野・袴狭

(栃江について)

《質疑》

Q： 栃江は周囲に2度施設整備され、今度で3度目ということに対する住民感情をどう捉えるのかということである。豊岡清掃センターの運営について何か苦情はあるのか。

A： 合併してから3年間は特にはない。

《意見》

- ・ 地元の定義について、行政側は土地の「字」を基準としているが、これでよい。しかし、距離が近くても違う字である場合もある。住民感情など、地元状況をよく理解したうえで評価すべきである。
- ・ 予定地に近くても遠くても反対する人がいる。非常に難しい。遠い区の住民感情を評価するのは難しい。
- ・ 過去の施設の有無については、区内にあるかないか（あったかなかったか）で評価することしか出来ないのではないか。

- ・ 隣接であるが、実際は奈佐川もはさんでいる。地元には異論はあるかもしれないが、これでいいのではないか。

- ・ 隣接の概念はケースバイケースである。判断は難しい。

(下宮について)

《意見》

- ・ コウノトリ及び下宮は鳥獣特別保護区と関係はないが、現地確認の際、ビオトープにいるコウノトリを確認している。そのような実態により、評価の見直しが必要である。
- ・ 久々日神社そばには進入路が来ると考えられるが特に問題はない。しかし、神社はコウノトリに関係しているとも聞いているなど文化財的な施設であり評価はBでよい。
- ・ コウノトリの里公園から近い。
- ・ 豊岡市民が一生懸命に今取組んでおり、評価をA→Cに下げるべきだ。

(森本・坊岡について)

《質疑》

Q： 森本・坊岡はトンネルをつければ集落に大きな迷惑を掛けなくてすむが、いかがか。

A： トンネルは莫大な経費がかかり、実施は難しい。

《結論》

- ・ **栃江、森本・坊岡、奈佐路、口小野・袴狭の4箇所については、現地報告結果による前回の評価結果の見直しは必要性ない。**
- ・ **下宮は、コウノトリの関連で鳥獣保護区の評価を注釈つきで見直す。**
 - 事務局修正案提示（別紙）
- ・ **評価の重みは妥当性・根拠が難しい。したがって、評価項目の重みは現時点では付けないほうが良い。**
- ・ **3通りの配点を行った結果を見ても、森本・坊岡区と、口小野・袴狭が他の3地区に比べ点数が高い。よってこの2地区に決定したい。**

② 市町有地及び情報提供のあった土地

《質疑》

Q： 市町有地はどのように調査したのか。

A： 普通財産の財産台帳より市町有地について調査した。大半が急峻な山林であり、3ha取れる場所はほとんど無かった。

Q： 情報提供はどの程度あったのか

A： 7か所あった。そのうち、区内自主的同意は2箇所である。

《結論》

- ・ 市町有地は概ね3ha以上の条件及び、工事の難易について検討した結果、小河江・八代地区の河川激特事業掘削残土埋立地とする。また、地区より情報提供いただいた箇

所として辻、伊賀谷とする。

- ・ 先の①森本・坊岡、②口小野・袴狭に併せて、③八代・小河江、④辻、⑤伊賀谷の 5箇所を第一候補地として選定する。

○ 「3 その他」 の内容

(1) について

次回委員会	日 程	2月19日(火) 午後2時より
	場 所	日高総合支所2階第一会議室

絞り込んだ5箇所の現地確認の報告について

候補地名	委員報告内容
森本・坊岡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 候補地周辺の戸数は少ない。 ・ 送電線及び鉄塔あり。 ・ 約900mの2車線進入路（現道の拡幅）、橋梁工事が必要。 ・ 進入路予定である道路は、現在、住民の生活道路。 ・ 冬季の雪対策が必要。 ・ ごみ重心から遠い。 ・ 地形的には問題ない。 ・ 候補地として大きな問題はない。
栃江	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋梁架け替え工事と道路改良が必要であるが、現交差点とのすり付けが困難。（これらの工事は住民にとってメリットにもなりうる） ・ 旧処分場と豊岡清掃センターに近接。現清掃センターに関する苦情は無いが、今度は3度目ということに対する住民感情が問題。 ・ 候補地上空に高圧線あり。 ・ 地形的には問題ない。 ・ ごみ重心に一番近い。 ・ 民家に近く、候補地として余り適当でない。
下宮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線道路から近く立地条件は良い。 ・ コウノトリのビオトープや久々日神社に近く、現段階での住民理解は得にくい。（一次評価項目の再検討も必要） ・ ごみ重心には比較的近いが、北但全域からすると東に寄りすぎている。 ・ 地形・地質的な問題はなく、標高差もあまりない。
奈佐路	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス道路も幅員が狭く、集落がある。 ・ 橋梁新設工事が必要。 ・ 候補地の谷は狭く、十分な敷地確保の可能性が問題。 ・ 旧期の土砂流地形が明確。 ・ 河岸段丘の発達もあり、岩盤まで未固結な砂礫や粘土層が分布し、場合によっては大規模な基礎工を要する。 ・ 候補地周辺は民家もまばらで、近接していない点が有利である。 ・ 候補地が高台にあり、幹線道路とのすり付けが困難。
口小野・袴狭	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ重心からやや距離があるが、アクセスも良く候補地として適当である。 ・ 口小野の民家からも少し離れ、袴狭集落からも尾根に阻まれる等、景観上の問題が発生しにくい。 ・ 進入路も短くなる。 ・ 必要面積も十分取れる。 ・ 幹線道からの入り口が狭い。橋梁新設工事が必要。 ・ 地形・地質的には優良（花崗岩基盤）